

# 知 識 探 訪

## 多民族社会の横顔を読む

協力：日本マレーシア学会 (JAMS)

### 連盟党の「遺産」は断絶するのか—— B N 解散を決議した M C A

篠崎香織 (北九州市立大学外国語学部教授)

史上初の政権交代という結果となった 2018 年総選挙以降、国民戦線 (B N) を離脱する政党が相次いだ。同総選挙の時点で半島部、サバ、サラワクの 13 の政党で構成されていた B N は、19 年 2 月の現時点までに、半島部の統一マレー人国民組織 (U M N O、サバの U M N O は B N を離脱)、マレーシア華人協会 (M C A)、マレーシア・インド人会議 (M I C)、マレーシア・人民進歩党 (M y P P P、B N 残留をめくり党が分裂) を残すのみとなった。

このうち M C A では、B N から離脱すべきだとの声も上がる中、18 年 12 月 2 日の年次党大会で、B N を解散し新たな形で他政党との連盟を組織する権限を党中央委員会に付与することを決議した。M C A は 12 月 12 日に B N 最高理事会の事務局に文書を送り、B N の解散について協議すべく、B N 最高理事会の開催を求めた。B N 本部は、19 年 1 月 7 日に会議を招集するとの通知を發出したが、その会議は延期され、実施されないままとなっている。

B N では、半島部、サバ、サラワクにおいてそれぞれ選出された代表者たちが政府を構成する形をとっていた。半島部では、マレー人、華人、インド人から代表者として選出された U M N O、M C A、M I C が半島部の代表者を構成していた。これら代表者が B N を通じて互いに利害を調整し、自らが利益を代表する集団に利益を提供してきた。こうした仕組みは、1950 年代に半島部で設立された連盟党 (Alliance Party) に起源をもつ。B N の構成政党は現在実質的に、連盟党の構成政党に戻っている。こうしたなかで連盟党の起源を少し振り返ってみたい。

1946 年 5 月にマレー人政党 U M N O が設立された。当時マラヤの自治領をめくり、イギリス人はマレー人首長と交渉していたが、U M N O は自分たちこそがマレー人の代表者であると主張し、交渉の場に代表を送るに至った。こうした中で 46 年 8 月にインド人政党 M I C が、49 年 2 月に華人政党 M C A がそれぞれ設立され、自治領化に向けた交渉・調整に代表者を送ることを目指した。

U M N O、M C A、M I C は、それぞれマレー人、華人、インド人の代表者としての立場を、選挙を通じて確立していった。最初に行われた選挙は、ペナンのジョージタウン市議会であった。9 議席が争われたこの選挙では多民族政党が勝利し、U M N O は 1 議席し

か獲得できなかった。これに続き、52 年 1 月には首都クアラルンプールでも市議会議員選挙が行われることになっていた。この選挙に際し、U M N O と M C A の地方レベルの指導者が選挙協力を行うことで合意した。これには党内外から批判もあったが、両党は選挙で圧倒的な勝利を収めた。その後各地で実施された市議会選挙でも、両党の選挙協力と勝利が定式化した。U M N O と M C A は 53 年に連盟党を結成し、54 年には M I C もこれに加盟した。連盟党は、最初の国政レベルの選挙である 55 年 7 月の立法議会選挙で圧勝した。

この間、民族政党を解体して、多民族政党を作ろうという動きもあった。例えば、U M N O の初代党首オン・ジャアファルや、M C A の初代党首のタン・チェンロックは、そのような考えを持っていた。オン・ジャアファルは後に U M N O を離脱して多民族政党を結成し、選挙に参加した。しかし人々が選んだのは、U M N O と M C A の提携であり、そこから発展した連盟党であった。

M C A は B N の解散を掲げているものの、連盟党時代からのやり方を大きく変えようとしているわけではないようである。B N が解散すれば、M C A は 67 年間にわたり提携関係を維持してきた U M N O との関係性を解消することになる。他方で M C A は、華人の利益を追求する民族政党としての立場を維持しつつ、グラカンなど多民族政党との提携や、他民族との協調を重視するマレー人指導者との提携を模索していくとし、そのような志向性を持つ U M N O 党員との提携も排除していない。M C A が誰とどのような提携関係を結んでいけるのか、それを有権者がどう評価するののかは、また別の問題である。連盟党の遺産が継承されていくのか、今後の展開が注目される。

#### < 筆者紹介 >

1972 年、千葉県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修了。学術博士。在マレーシア日本国大使館専門調査員などを経て現職。専門はマレーシアの地域研究で、民族間関係を研究している。日本マレーシア学会運営委員長。